

2019年3月20日
在グアテマラ日本国大使館

1 内政

（1）国民和解法の改正案

（ア）改正案の審議状況とその内容

1月18日、83名／158名のグアテマラ国会議員らが賛成票を投じ、ジェノサイド等の人権侵害犯罪を行った者に恩赦を与える内容を持つ「国民和解法(Ley de Reconciliación Nacional)」の改正案が国会第一読会(primer lectura)を通過した。最終的な可決までには第二、第三読会および最終起草(redacción final)を通過する必要がある(※各過程で80／158票(全体の過半数)以上の賛成があれば次の段階へ進む)。

国民和解法は内戦時の政府・ゲリラの対立を帳消しにすることを目的とし、人権侵害等の重大犯罪以外には恩赦を与える。改正案の内容は①ジェノサイド、強制失踪および拷問等の重大な人権侵害犯罪に対しても恩赦を与え、進行中の捜査も停止すること、②そのような罪で有罪判決を受け服役中の者も遡及して無罪とすることである。

（イ）米国の反応

2月14日、米務省はロバート・パラディノ同省広報官の名前で「米国は、グアテマラ国会で審議中の同改正案に対して深い懸念を表明する。グアテマラの内戦における重大な人権侵害に関する裁判は、被害者の遺族に尊厳を与え、国家機関に対する信頼を増大させ、紛争中に発生した犯罪を解決しようとする他国にとっても良い模範例となってきた。米国はグアテマラの汚職・無処罰問題との闘いに対する支援を継続する」との声明を発表した。

（ウ）改正案を推進するグアテマラ国会議員の反応

改正案の発案者であるフェルナンド・リナーレス・ベルトラネナ国民進歩党(PAN)議員は「米務省の声明はポンペオ米務長官やトランプ米大統領自身の姿勢を反映したものではない。我々は審議を続けていく。同改正案は人権を尊重するものである」と述べた。改正案を支持するハビエル・エルナンデス与党国民集中戦線(FCN)委員長は「改正案は真の和解を目指している。内戦における政府軍およびゲリラの関係者らはすでに高齢であるため、彼らに休息(恩赦)を与えるべきである」と述べた。

（2）当地メディアによるアレアガ駐グアテマラ米国大使へのインタビュー

2月26日、アレアガ駐グアテマラ米国大使は、当地メディアのインタビューに応じ、2019年総選挙、グアテマラ無処罰問題対策国際委員会（C I C I G）に関する問題等に関して以下のとおり述べた。

（ア）（記者：1月、政府は国連と政府間のC I C I G設置合意を破棄する決定をしたが、ほとんどの政党は同決定に対する反対や賛成の姿勢を明らかにしていない。米国としてこの状況をどう見ているか。）

選挙キャンペーンが始まれば（3月18日～6月14日）、各党がC I C I Gに対する自身の立場を明確にするだろう。米国はその際に各主張を分析する。

（イ）（記者：モラレス大統領や一部の団体は、最高選挙裁判所（T S E）の正当性を認めず、2019年総選挙への不満を述べているが、米国はこの状況を危険なものだと認識しているか。）

そのような議論を詳細に聞いたことがないが、選挙における不確実性や選挙のやり方に疑問を呈している人々がいるという話は耳にしたことがある。T S Eは以前からグアテマラ総選挙を監視しており、我々はT S Eにその能力があることを知っている。T S Eは検察庁、民間団体、市民団体等様々なアクターと協力して選挙監視活動を行っていることを考慮すれば、T S Eへの信頼はより大きくなる。

（ウ）（記者：米議会が米務省に作成を要請した中米北部三カ国の汚職関係者リストの公表により汚職対策が前進するのではという期待がある。いつ同リストは公表されるのか。同リストはグアテマラの2019年総選挙に影響するような重要なものとなるか。）

（※ノルマ・トーレス米民主党下院議員（グアテマラ出身）は、中米北部三カ国の汚職撲滅を支援するため国防権限法（NDAA）の改正案を提案、米議会により可決（2018年5月）、トランプ米大統領も署名（8月）した。同改正により米務省は汚職・麻薬取引に関与した中米北部三カ国の個人（政府高官、議員、有力企業家など）のリストを年一回作成する。米議会での同リストに関する審議を経て、汚職・麻薬取引関係者に対する制裁（資産凍結、米国査証の取り消し等）が認められる。）

同改正案は正式な法律であるので、米国はリストを公表しなければならないが、それがいつかは言いたくない。本件は米政府が決めることである。選挙に影響するか否かは、同リストが意図しているところではない。

（エ）（記者：1月の政府によるC I C I G設置合意破棄の決定の後、憲法裁判所は同決定を停止する裁定を下したものの、政府は依然としてC I C I G設置合意破棄の姿勢を維持しているが、憲法裁判所の裁定に対する不履行について米国は懸念しているか）

米国は憲法裁判所に関する特定のケースについて意見を述べたことは一度も

ない。米国は、憲法の尊重や三権分立の原則を信じている。グアテマラ憲法は三権の機能と権限を明確に定めている。

(オ) (記者：1月に政府が国連と政府間のC I C I G設置合意を破棄する決定をした際、なぜ米国はC I C I G支持を明確に示すような声明を出さなかったのか。)

これまで述べてきたとおり、米国は汚職・無処罰問題との闘いに専念している。C I C I Gに関する事項は、国連とグアテマラ政府の問題である。米国は今後も汚職との闘いに取り組み、グアテマラ次期政権が誰であろうと米国は次期政権とともに汚職撲滅に取り組んでいく。

(カ) (記者：しかし、米国はC I C I Gの主要ドナー国の一つである。それにもかかわらずC I C I G支持の声明を出さないのか。)

国連とグアテマラ政府の間でC I C I Gに関する問題が生じている。国連は独立した組織で、グアテマラ政府には主権があり、C I C I G問題を解決するのは国連とグアテマラ政府である。一つ明らかであるのは、米国はグアテマラとともに汚職・無処罰問題との闘いを続けるということだ。自分(同米国大使)が言えることは、米国は2019年総選挙の候補者を注視しており、選挙を経て次期政権が決定した後も、次期政権がどのような政策を掲げるのかフォローする。

2 外交

(1) 当国政府によるブケレ次期エルサルバドル大統領への祝意表明

2月4日、グアテマラ外務省は「グアテマラ政府は、2月3日に実施されたエルサルバドル大統領選における勝利について、ナジブ・ブケレ氏に対し心からの祝意を表す。グアテマラ政府は、次期大統領の政権運営における成功を祈念すると同時に、兄弟国エルサルバドルとの親密で歴史ある友情と協力の絆において、両国の平和、安全と繁栄のためのイニシアティブを継続していく意思を再度確認する」とのプレスリリースを発表した。

モラレス大統領はツイッターで、平穏に実施された民主的選挙について、ブケレ次期大統領およびエルサルバドル国民に祝意を表し、両国民の友情と開発のために団結して取り組んでいこうと呼びかけた。

(2) ベネズエラ情勢

(ア) ホベル外相のリマ・グループ閣僚会合への出席

2月4日、ホベル外相はカナダのオタワで開催されたリマ・グループ第10回外相会合に出席し、同日、グアテマラ外務省は同省ホームページに「ベネズエラに関するオタワ宣言」および「リマ・グループ宣言」を掲載した。ホベル

外相は、（メキシコを除く）リマ・グループ各国外相らと同会合に出席し、グアイド暫定大統領の承認と支持を確認した。

（イ）駐グアテマラ・ベネズエラ外交代表の任命

2月5日、ベネズエラ国会は、ジャーナリストおよび政治学者であるマリア・テレサ・ロメロ氏を駐グアテマラ・ベネズエラ外交代表に任命した。

（ウ）モラレス大統領の第11回リマ・グループ外相会合への出席

2月25日、モラレス大統領およびホベル外相はコロンビア・ボゴタ市を訪問し、第11回リマ・グループ外相会合に出席した。同大統領は「マドゥーロが行った抑圧的な行為を非難し、ベネズエラ国民の安全および人権を擁護するよう求める。この会合は、ベネズエラ国民に希望のメッセージをもたらす重要なものである。ベネズエラにおいて公平で透明性のある選挙が早期に実施されることを望む」と述べた。

また、同会合のマージンでモラレス大統領は、グアイド・ベネズエラ暫定大統領、ドゥケ・コロンビア大統領およびモウラオン・ブラジル副大統領との二国間会談を実施した。

・グアイド・ベネズエラ暫定大統領

モラレス大統領は、グアイド・ベネズエラ暫定大統領に対する完全な支持を表明し、ベネズエラ国民の人権を尊重し自由で民主的な政治システムの保障を訴えた。グアイド暫定大統領は「ベネズエラ解放へ向けた闘いに対するグアテマラの支持は承知しており、感謝している」と述べた。

・ドゥケ・コロンビア大統領

モラレス大統領およびドゥケ・コロンビア大統領は、治安改善、超国家的犯罪への対処、貿易、文化および民主的価値における両国の協力について協議した。

・モウラオン・ブラジル副大統領

モラレス大統領は、ブラジルによるグアテマラの農場復興支援が良い成果をあげていることを伝え、同支援に対する感謝を表明した。

（3）モラレス大統領と米民主党上・下院議員の会談

2月15日、米民主党上院議員であるトム・カーパー議員およびジェフ・マークリー議員、米民主党下院議員であるリサ・ブランド・ロチェスター議員、ルー・コレア議員、ドン・ベイヤー議員およびドナルド・ノークロス議員がグアテマラを訪問し、国立文化宮殿にてモラレス大統領と会談した。アレアガ米大使、ホベル外相およびバジャダレス経済大臣が同席し、会談は1時間半以上続いた。

会談のテーマは、中米北部三カ国繁栄のための同盟計画（PAP）の進捗で

あり、モラレス大統領は汚職・麻薬取引との闘いおよびガバナンスの向上に専念することを約束した。バジャダレス経済大臣は、会談はP A Pについて議論することが目的であり、米国の議員らは会談内容に満足していたとする一方、ある会談関係者によると、C I C I Gやこれまでの憲法裁判所の裁定および6月の総選挙もアジェンダに含まれていたとされる。

(4) グアテマラのOECD開発センターへの加盟承認

2月19日、ホベル外相はフランス・パリの経済協力開発機構（OECD）本部を訪問し、グアテマラは54カ国目のOECD開発センター加盟国として正式に認められた。モラレス政権は、グアテマラ経済・社会の発展に貢献するためOECD開発センター加盟を優先事項の一つとし、2017年6月より取り組みを開始した。OECD開発センターは、2018年11月30日にグアテマラの同センター加盟に関する審査を実施し、同年12月11日に加盟を認める決定をした。

グアテマラで会見に応じたモラレス大統領は「グアテマラのOECD開発センター加盟は、グアテマラ政府が汚職との闘いに率先して取り組んでいることを示している。グアテマラは正しい方向に進んでいる」と述べた。

(※OECD開発センターは、開発問題の調査を行う独立機関として1962年に設立。主な目的は、OECD加盟国と発展途上国が対等な立場で、経済・社会開発政策の経験を共有できるフォーラムとして、開発政策の議論に知見を提供することである。)

(5) 移民問題等に関する米国および中米北部三カ国の第4回内相級会合

2月20日、デゲンハルト内相はエルサルバドルのサンサルバドルを訪問し、米国および中米北部三カ国による第4回内相級会合に参加し、中米の犯罪組織、人身売買、移民キャラバン等への対応について協議した。キルステン・ニールセン米国土安全保障長官、ラミレス・エルサルバドル司法・公共治安大臣およびパチェコ・ホンジュラス治安大臣が参加した。

内相らは共同声明に署名し、関係国で行動プランを作成し越境犯罪組織や不法移民問題への取り組みを強化していくこと、各国が同問題へ対処するための国内立法を進めていくこと等に合意した。

3 経済

(1) 2018年における中国からグアテマラへの輸入額の増加

グアテマラ中銀によると、2018年の中国からグアテマラに対する輸入額は、前年比で約10%増加し（グラフ1）、グアテマラにとって中国は第2位の輸入相手国となった。しかし輸入とは反対に、2018年のグアテマラから中国への輸出額は、前年比で約30%減少し、中国との関係でグアテマラは大きな貿易赤字を記録した。

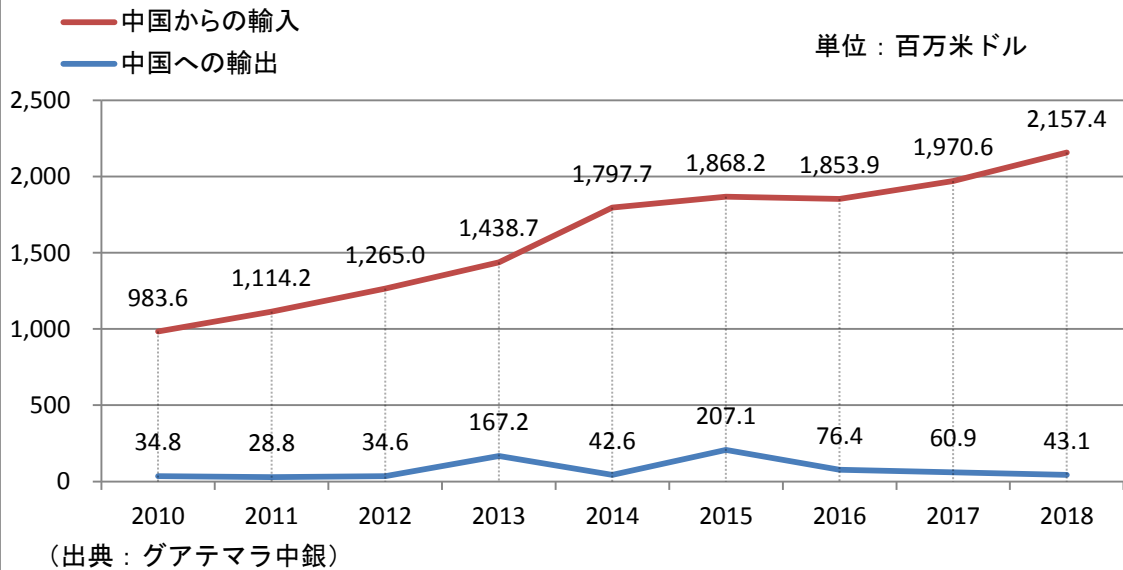
2018年におけるグアテマラ国別輸入額は、1位米国、2位中国、3位メキシコ、4位エルサルバドル、5位コスタリカ、6位パナマ、7位コロンビア、8位ホンジュラス、9位スペイン、10位インド、11位韓国、12位ドイツ、13位ブラジル、14位日本（以下省略）である。

2018年の当国の総輸入額は197億3,400百万米ドルであったが、米国からの輸入額はその38%（74億6,500百万米ドル）、中国は10.9%（21億5,700万米ドル）、メキシコは10.8%（21億3,300万米ドル）であった。

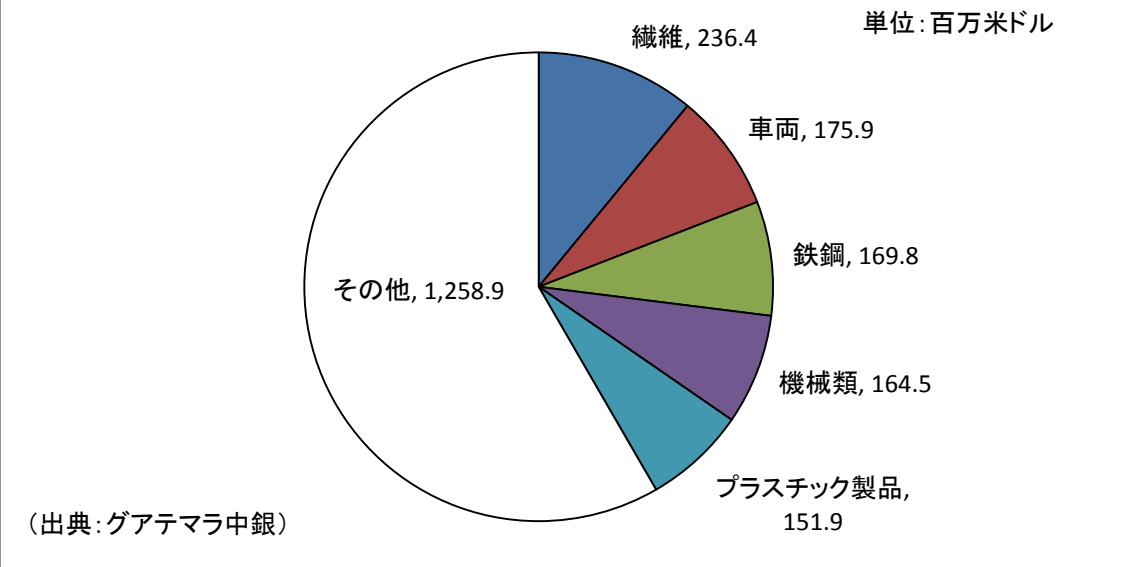
グアテマラが中国から輸入するのは主に原材料および加工品であり、1位は繊維、2位は車両、3位は鉄鋼、4位は機械類、5位はプラスチック製品である（グラフ2）。繊維業組合（VESTEX）代表のアレハンドロ・セバジョ氏は「中国からは綿が大量に輸入され、当国における布製品の生産に使用される」と説明している。中国・グアテマラ協力商工会議所（4CG）代表のペドロ・バルノヤ氏は「車両に関しては、中国製バイクの輸入が特に増加している。バイク部品も中国から輸入され当国で組み立てが行われる」と述べている。

一方で、当国専門家らは「グアテマラは中国製品の購入者になっており、当国の輸出が伸びていない。中国とグアテマラの貿易には互惠主義が必要である」と主張している。

グラフ1:グアテマラ・中国の貿易額の推移



グラフ2:2018年における中国からの輸入品目



(2) 韓国大手アパレル会社のセア貿易の巨大繊維工場の建設計画

2月7日、グアテマラ経済省は、韓国大手アパレル会社のセア貿易（Sae-A Trading）が4億米ドルを投資し、グアテマラにハイテクノロジーを駆使した巨大繊維工場を建設すると発表した。建設から操業開始まで3年間を予定しており、完成すれば、ポリエステル製品の縫製作業、織り作業および染色作業の全行程を一つの拠点で行うことができるグアテマラ唯一の繊維工場となる。なお、

グアテマラにおける建設場所は未定である。

セア貿易はミスコ市やビジャヌエバ市等にすでに工場を有しているが、今後巨大工場を新たに建設することで生産ラインを統一し、米国や中南米に近いというグアテマラの地理的優位性を最大限に活用することを目指している。グアテマラ経済省によると、同工場建設により1,500~2,000人の雇用が創出されると試算されている。

(3) グアテマラ産エンドウ豆のカナダへの輸出許可

2月20日、グアテマラ非伝統産品輸出業協会（AGEXPORT）は、カナダがグアテマラ産エンドウ豆（arveja china y dulce）のカナダへの輸出を許可したと発表した。グアテマラ産エンドウ豆がこれまでカナダへ輸出されていなかったのは、クロロタロニル農薬が使用されているためである。

アグリトレード（Agritrade）・プラットフォーム代表であるエストゥアルド・カストロ氏は「3年程前、グアテマラはエンドウ豆輸出に関する交渉をカナダと開始し、両国関係者は使用される農薬やその量等を研究した結果、カナダへ輸出する上で問題はないという結論に至った」と述べた。

現状、カナダは約2万5千トンのエンドウ豆を中国から輸入している。他方、AGEXPORTによると、グアテマラは年間約5千5百万ポンド（約2万4,750トン）~6千万ポンド（約2万7千トン）のエンドウ豆を輸出し（現状でカナダには輸出されていない）、その80%は米国へ、20%はヨーロッパへ輸出される。

カストロ代表は「今回のカナダによる許可で、2019年におけるグアテマラ産エンドウ豆のカナダへの輸出量は5百万ポンド（約2,250トン）~1千万ポンド（約4,500トン）に達すると試算されている。グアテマラはエンドウ豆生産を増加させ、総生産量の約15~20%をカナダへ輸出することが期待されている」と述べた。

(4) 2018年グアテマラ電力輸出額75%増

グアテマラ中銀によると、2018年のグアテマラ電力の輸出額は1億8,074万7千ドルで、2017年の1億277万7千ドルよりも約75%増加した。2018年の電力輸出先について、1位はエルサルバドル（同国への輸出額は1億1,932万8千ドルで総輸出額の66%）、2位はホンジュラス（3,732万米ドルで20.6%）、3位はメキシコ（2,180万4千ドルで12.1%）、4位はニカラグア（121万米ドルで0.7%）、5位はコスタリカ（92万9,900米ドルで0.5%）であった。

元全国電力委員会（CNEE）委員長のカルメン・ウリサル氏は「グアテマラ電

カセクターへの投資と送電網設備の発達により、グアテマラは中米地域の電力市場における輸出量を大きく増加させた」と述べた。2018年1月～9月までで、対外直接投資総額は7億6,130万米ドルであるが、そのうち電力セクターへの投資額は5,430万米ドルで7%を占める。

(5) 2018年輸出額の成長率は0.3%

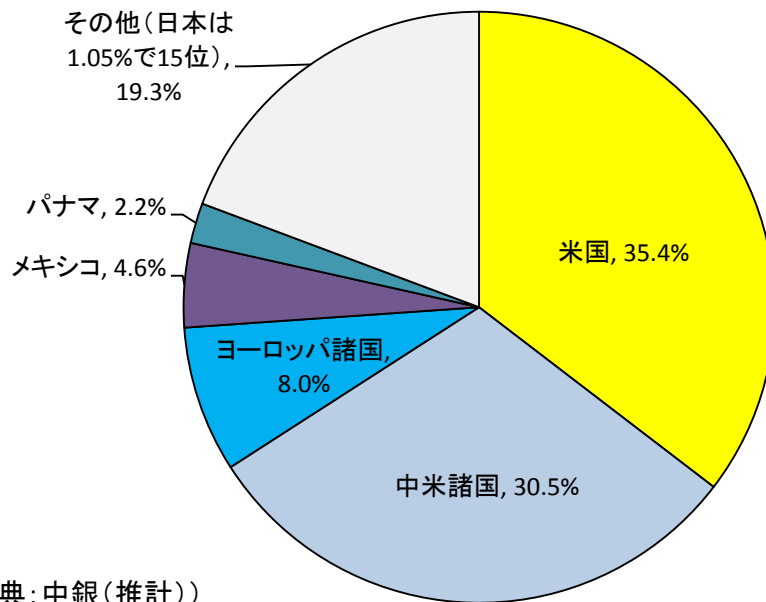
1月24日のグアテマラ中銀による推計では、2018年の輸出額は110億1,850万米ドルであり、2017年の109億8,230万米ドルと比べ0.3%のプラス成長となった。プラス成長を記録した主要輸出品目は、衣類、バナナ、カルダモン等で、輸出先としては、米国、中米諸国、ヨーロッパ諸国、メキシコおよびパナマであり、輸出総額の80.7%を占める（日本は1.05%で15位であり、2017年の11位よりも順位を下げた）（表1、グラフ3）。

<表1：2018年の品目別輸出額 上位15位>

品目	2018年輸出額 (百万米ドル)	2017年輸出額 (百万米ドル)	成長率 (前年比)
衣類	1,450.3	1,339.8	8.2%
バナナ	815.4	781.5	4.3%
コーヒー	679.9	747.9	△9.1%
砂糖	633.2	825.0	△23.2%
食用油	563.1	570.1	△1.2%
カルダモン	433.9	366.5	18.4%
プラスチック製品	349.4	329.3	6.1%
果物	340.1	309.7	9.8%
アルコール飲料	325.6	326.1	△0.2%
鉄鋼	302.2	237.1	27.4%
紙製品	295.6	271.9	8.7%
繊維	232.0	199.5	16.2%
穀物	225.3	211.0	6.8%
薬品	224.9	231.9	△3.0%
豆・野菜類	219.6	177.3	23.8%

(出典：中銀(推計))

＜グラフ3：2018年グアテマラ国・地域別輸出割合＞



(出典：中銀(推計))

4 治安・社会

(1) 麻薬取引に使用されたと見られる小型飛行機の発見

2月18日、麻薬取引に使用されたと見られる2機の小型飛行機が、それぞれチキムラ県およびレタルレウ県にて発見された。検察庁によると、1機目は、チキムラ市中心部から10分の民家中庭に墜落し、機内には4万米ドルが隠されていた。グアテマラ航空総局（DGAC）（空港管理を行う通信インフラ住宅省所属の国家機関）は、同機は18日午前8時30分にチキムラ県発着場を飛び立ったが途中でコントロールを失ったと発表した。近隣住民は、墜落した後同機からアタッシュケースを持った数人の乗組員が降りてきて、すぐにその場から立ち去ったと述べた。

他方、レタルレウ県チャンペリコ港では、18日午前、ある小型飛行機がレーダーで察知され、国家文民警察（PNC）が現場へ駆けつけると、離陸に失敗して不時着した同機が残されていた。近隣住民は、着陸後に同機から数名の乗組員が出てきて、同機を燃やしその場から逃げたと述べた。検察庁によると、同機は密かに準備された非合法の滑走路から飛び立ったと見られ、2018年にはペテン県やアルタベラパス県において少なくとも3つの非合法滑走路が発見されている。

◇主要経済指標◇	2019年		2018年	2017年	2016年
	2月	1月	12月		
インフレ率（前年同月比）	4.46%	4.10%	2.31%	5.68%	4.23%
貿易収支（百万ドル）	未発表	△823.6	△652.1	△7,407.7	△6,553.5
輸出（百万ドル）	未発表	861.2	930.9	10,982.0	10,449.3
輸入（百万ドル）	未発表	1,684.8	1,583.0	18,389.7	17,002.8
外貨準備高（百万ドル）	12,557.2	12,452.4	12,755.6	11,769.5	9,160.4
外国からの送金（百万ドル）	690.4	688.0	843.3	8192.2	7,159.9
為替レート（対ドル月平均）	7.73	7.72	7.73	7.35	7.60

（出典：中銀，国立統計院） 注）本年より前の年の為替レートは年平均